

# 兵庫県立有馬富士公園リノベーション計画

令和3年3月

兵庫県県土整備部公園緑地課

## 目 次

1. 兵庫県立都市公園リノベーション計画について .....	1
1-1. 本計画の背景と目的 .....	1
1-2. 本計画の対象 .....	1
1-3. 計画期間 .....	1
2. 計画策定にあたっての基本的な考え方 .....	2
2-1. リノベーション計画の作成方法 .....	2
2-2. 県立都市公園の成り立ち .....	3
2-3. 基本計画の点検とその対応 .....	5
2-4. 県立都市公園をとりまく社会情勢等の変化への対応（SDGsを意識した取組みの推進） .....	7
3. 有馬富士公園の概要 .....	12
4. 有馬富士公園リノベーション計画 .....	14
4-1 有馬富士公園の成り立ち .....	14
4-2 リノベーションテーマ .....	15
4-3 リノベーション方針 .....	15
4-4 対策内容 .....	18
4-5 スケジュール .....	30

※P1～P11 は兵庫県立明石公園リノベーション計画と同じ記載のため省略

### 3. 有馬富士公園の概要

- 公園種別 広域公園
- 計画面積 359.8ha
- 開園面積 178.2ha

#### (1) 概要

有馬富士公園は、古くから景勝の地として知られ、豊かな自然環境を残す有馬富士と福島大池一帯にあり、阪神間3箇所目の広域公園として整備した。園内には、里山をはじめ、棚田、湿地等を有し、大規模な子供の遊び場「あそびの王国」や、風のモニュメントを展示する「風のミュージアム」、三田市立「自然学習センター」がある。

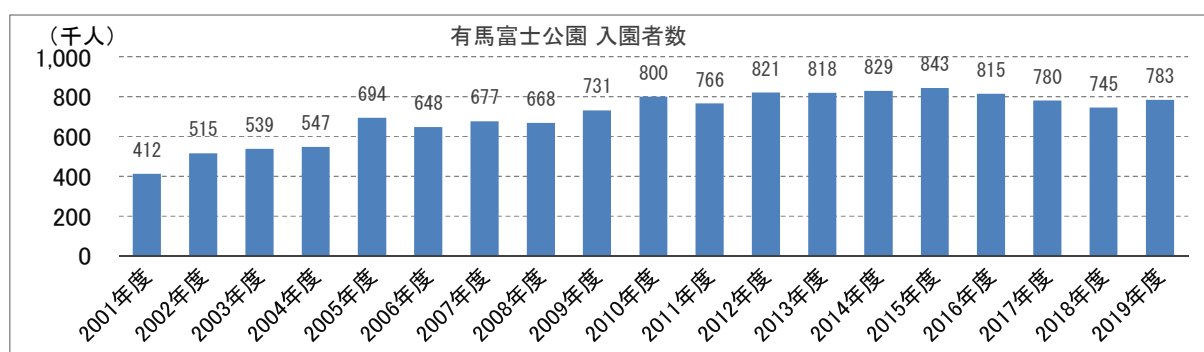
当公園は、開設当時から県立人と自然の博物館と連携し、参画と協働による公園運営に取り組み、住民参加型のモデル公園として全国的に知られる公園となっている。

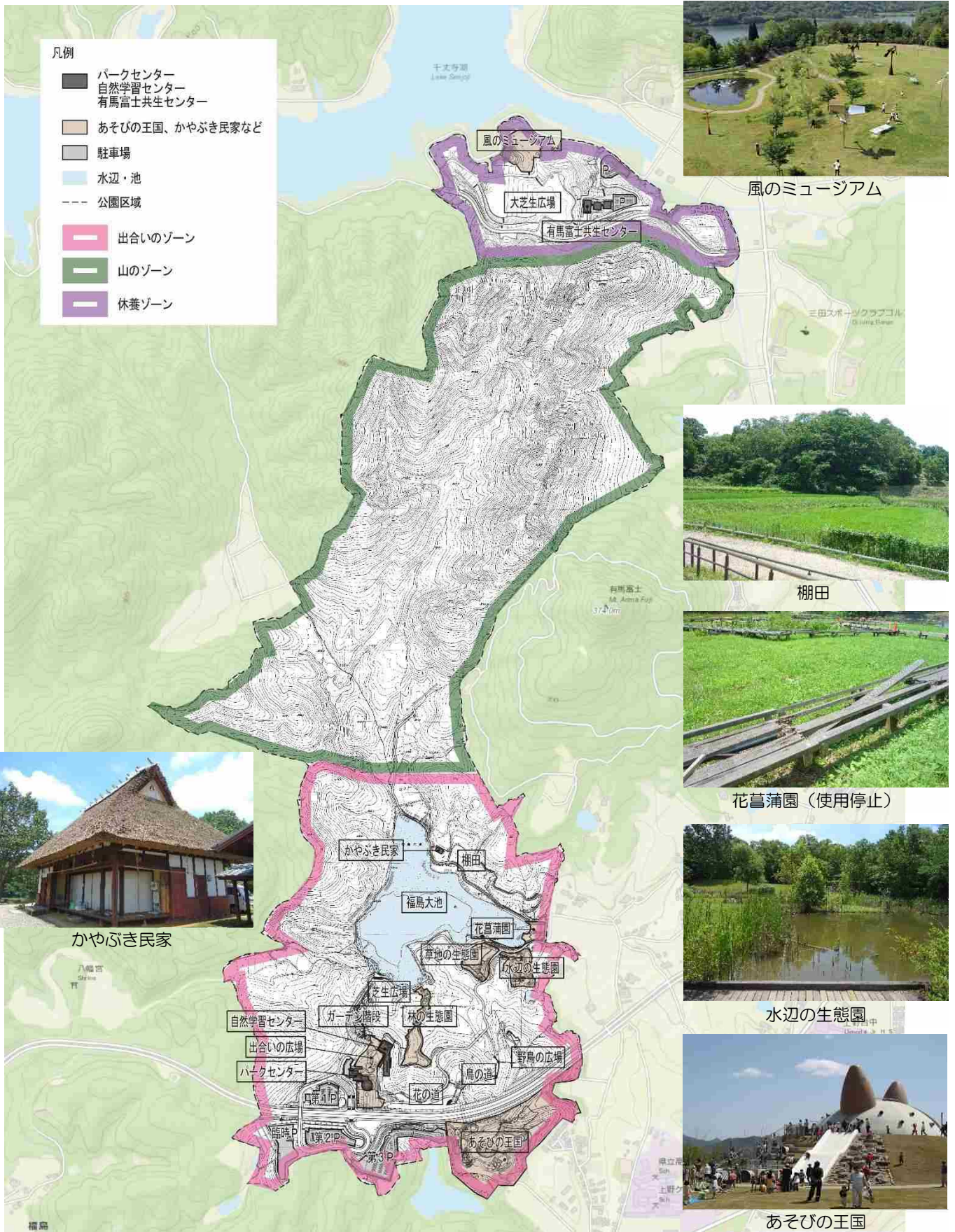


公園名	有馬富士公園 (ありまふじこうえん)
開設年月日	平成13年(2001年)4月19日
面積	計画面積: 359.8ha、開園面積: 178.2ha
種別	広域公園
主な施設	パークセンター、ガーデン階段、棚田、里山、かやぶき民家、あそびの王国、芝生広場、大芝生広場、ビオトープ池、ピクニック広場、展望デッキ、駐車場、有馬富士自然学習センター(三田市立)

#### (2) 来園者数

年間来園者数は、H13年の開園当初が約41万人、H23年の最終開園以降は約80万人前後で推移している。県立都市公園では、明石公園、舞子公園、三木総合運動公園、甲山森林公園に次いで来園者数が多い。風のミュージアムがオープンした翌年H27年には、過去最大の来園者数約84万人を記録した。





【図 施設配置図】



# 4. 有馬富士公園リノベーション計画

## 4-1 有馬富士公園の成り立ち

有馬富士公園の開園から現在に至るまでの整備および管理・運営に関わる主な出来事を整理し、これをもとにこれからの方向性を検討した。



## 4-2 リノベーションテーマ

前述の有馬富士公園の概要や成り立ちからリノベーションのテーマおよびキーワードを以下の通り設定する。

リノベーションテーマ：自然と芸術による教育、地域・観光振興

キーワード： **芸術・文化に触れ合う** **子どもを育む** **豊かな森** **交流の場** **地域活性**

## 4-3 リノベーション方針

### (1) 現状と課題及び方針

※ 公園のキーワード：「県立都市公園の整備・管理運営基本計画」での有馬富士公園に関する施策方針よりキーワードを抽出

①ハード

凡例： **新規施設導入**、**機能の更新**：県主導、**機能の更新**：住民等との参画と協働

キーワード	整備施設	利用状況	利用者像	課題	方針	対応 (○ハード、■ソフト)	備考
芸術文化	風のミュージアム (休養ゾーン)	能やコンサート等芸術イベントにより、幅広い利用者に芸術と触れあえる機会を創出	●作品鑑賞目的で国内外から来園 ●芝生広場は家族連れが多い	●公園のテーマでもある自然のなかで芸術に触れる機会の創出をさらに拡張し、地域活性等につなげる	<b>新規施設導入</b> (風のミュージアムの拡張)	○風のミュージアムを拡張し、「芸術と自然のコラボ」のさらなる展開を目指すため、新宮晋氏監修の「地球アトリエ」を設置	整備・管理運営基本計画 (I-②) ※休養ゾーン利用者数 7万人
子育て	あそびの王国 (出合いの広場)	出合いのゾーンの中心施設で、当公園で最も人気のある施設 ※出合いのゾーン利用者数 71万人	●家族連れ (主として子ども)	●現在の安全基準を満たさない箇所がある ●周囲に日陰が少ない ●1日過ごすのに食事場所がない	<b>機能の更新</b> (修繕及び改修) <b>新規施設導入</b> (飲食施設の整備検討)	○R2年度、安全基準を満たすため、改修工事实施予定 ○日陰となる樹木や四阿等検討 ○キッチンカーを春秋の土日で試験的に実施しているが、公園利用者のニーズ等を踏まえ、官民連携による地場産食材を活用した飲食施設の整備(カフェ・レストランの設置等)を検討	整備・管理運営基本計画 (II-④)
自然環境 (豊かな森)	花の道、鳥の道、野鳥の広場	散策のほか環境学習でも利用	●個人やグループでの散策 ●小学校の環境学習	●木製デッキの老朽化 ●植栽管理が出来ていない	<b>機能の更新</b> (修繕及び改修)	○木製デッキ、鳥シェルター等は修繕 ○花が無くなっている花の道は、維持管理し易い植栽(一部カラーリーフプランツ等)への変更を検討	整備・管理運営基本計画 (III-⑦、⑧)
	林の生態園	小学校の環境学習での利用や子どもの遊び場	●小学校の環境学習 ●家族連れでの虫取りなどの自然遊び	●環境学習受入れ場所としての充実 ●サイン等老朽化	<b>機能の更新</b> (住民等との参画と協働による修繕及び改修)	○解説板の改修。木道の補修。林の講堂での屋外講習の受入れ環境整備(机や椅子の改良、備品倉庫等設置) ○学習センター及びセンター所属のジュニアボランティアとの連携による湿地再生	整備・管理運営基本計画 (III-⑦、⑧)
	草地の生態園	他の生態園と比較し、利用は少ない	●小学校の環境学習 ●家族連れ (虫取りなどの自然遊び)	●草地の生態園の有効活用(環境学習や自然遊びなど)	<b>機能の更新</b> (住民等との参画と協働による修繕及び改修)	○バッタ等虫の多い草場を虫取り場所として整備(虫取り場所の設定、虫取りのルールづくり) ○虫の種類等生態学習用サインの設置	整備・管理運営基本計画 (III-⑦、⑧)
	水辺の生態園	サリガニ釣りなど子どもの遊び場	●家族連れ (サリガニ釣りなど自然遊び)	●アメリカサリガニ等外来種の増加 ●子どもが水に入るため、足洗い場の要望がある	<b>機能の更新</b> (住民等との参画と協働による修繕及び改修)	○サリガニ釣りなど自然体験を楽しめる場所として整備(足洗い場、安全対策、生き物捕獲のルールづくり等)	整備・管理運営基本計画 (III-⑦、⑧)
	花菖蒲園	散策等による花菖蒲の観賞	●個人やグループでの散策	●木製園路の老朽化により閉鎖中	<b>機能の更新</b> (住民等との参画と協働による修繕及び改修)	○近隣に大規模な花菖蒲園も存することから、花菖蒲園としての施設は廃止。現在の水辺を活かし、水辺の生態園同様、子どもが遊べる親水空間として改修(木製園路撤去、安全対策等)	整備・管理運営基本計画 (III-⑦、⑧)
	棚田・里山	住民グループの主要活動場所	●ボランティア、家族連れ等での米作りや里山管理	●棚田は米作り等で使用されているが、里山林は放置による樹木の巨大化等が目立つ	<b>機能の更新</b> (住民等との参画と協働による活動活性化)	■昨年度立ち上げた棚田・里山部会を中心とした里山の継続的な維持管理(低林管理)の取り組みを進める。	整備・管理運営基本計画 (III-⑦)
	尾根ルート (山のゾーン)	有馬富士登山やハイキングのルートとして人気	●個人やグループでのハイキングや登山	●ルートサインが不十分 ●歩行の障害となる園路際の樹木の繁茂	<b>機能の更新</b> (住民等との参画と協働による修繕及び改修)	○ルートサインの改修及び新たな設置 ○安全・安心なハイキング道確保のための樹木伐採、市や住民と連携した有馬富士登山道の整備検討(登山案内サイン設置、支障木伐採等)	整備・管理運営基本計画 (V-⑮)

②ソフト

キーワード	対象	現況	利用者像	課題	方針	対策の検討(案)	備考
管理運営 (交流の場、 地域活性)	有馬富士公園 運営協議会	協議会の部会として「 <b>棚田・里山部会</b> 」を設置し、夢プロや新たな住民団体等の活動の場を提供	●住民及び住民グループ(夢プロ等)	●棚田・里山部会の活性化 ●夢プロ等住民グループの高齢化 ●部会継続のための仕組みづくりとこれを踏まえた新たな県立都市公園の住民参画のモデルづくり	<b>機能の更新</b> (住民参画の活性化、新たな住民参画のモデルづくり)	■棚田・里山部会では、住民及び住民グループ、企業、人博等と連携し、里山の維持管理や里山を活かしたイベント等を行うとともに、これらの取り組みが継続的に実施できるような仕組み作りを検討。 ■里山活動以外にも興味を持った住民に対応できるよう、人博の協力を得て活動の場を広げる。各々の活動場所で、部会を立ち上げ、住民活動の活性化を図る(林部会、水辺部会等) ■上記の取り組み等により、県立都市公園の新たな住民参画モデルを目指す。	整備・管理運営基本計画(V-15)

(2) 公園をとりまく社会情勢の変化

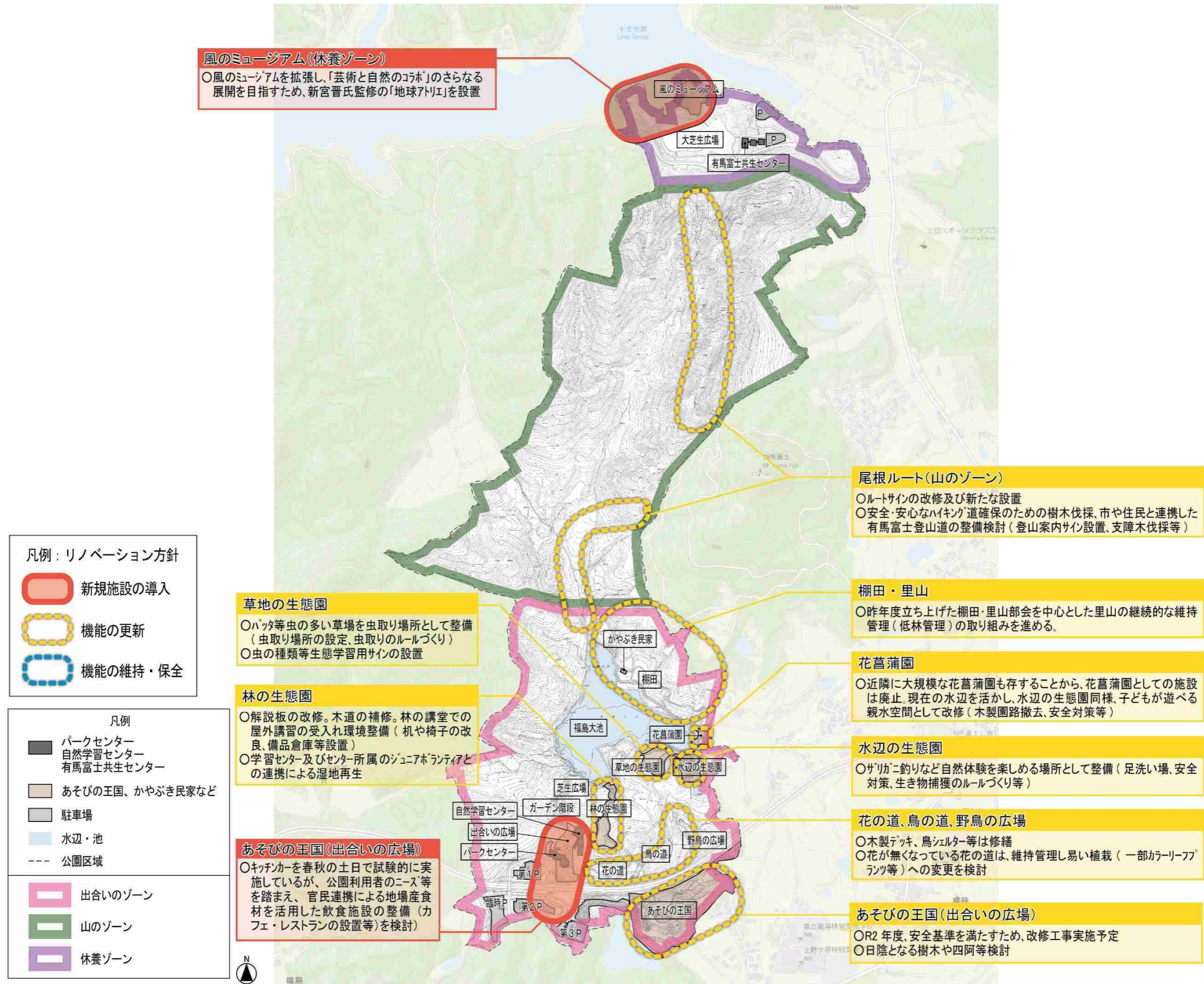
【キーワード：芸術・地域活性・自然環境】 **新規施設導入**

コロナ後の社会を見据え、以下の取り組みを実施するとともに、SDGs 達成を目指した取り組みを推進する。

- 「地球アトリエ」を拠点として、三田市及び阪神北地域の観光客等増による地域活性化を目指す。
- QRコードを活用した生き物観察、地域資源を活用した案内板等整備、ハイキング道ルート案内整備によるセルフ学習及びセルフレクリエーション機能の充実を人博や景観園芸学校の協力により目指す。
- 公園内外の四季を通じた里山・棚田巡りや公園内での棚田・里山作業体験などのマイクロツーリズムを推進する。
- 施設の修繕・新規整備の際に、雨水の貯留浸透機能の確保などグリーンインフラの機能を有効に活用する。



(3) リノベーション方針図 (○ハード、■ソフト)





## 4-4 対策内容

リノベーション計画の対象ごとに、課題、計画概要、計画を推進する機関等を示し、これに基づいてリノベーション計画を推進する。

### ①風のミュージアム（休養ゾーン）

#### <課題>

○公園のテーマでもある自然のなかで芸術に触れる機会の創出をさらに拡張し、地域活性化等につなげる

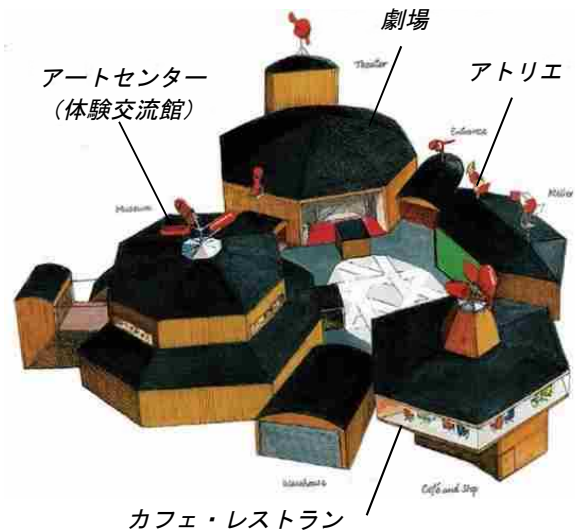
#### <実施主体>

ハ：ハードに関する対策 ソ：ソフトに関する対策

<b>ハ</b> 風のミュージアムを拡張し、「芸術と自然のコラボ」のさらなる展開を目指すべく、新宮氏監修の「地球アトリエ」を設置	県	指	市町	民間	住民
	主体となって進める機関				
	協力・連携して進める機関				

#### <概要>

地球アトリエの基本構想に基づき4つテーマを設け、テーマを具現化するため、地域との連携による子どもの教育の場、国内外のあらゆる人が地球という環境について考える場となるよう、来園者が自然や芸術を通じて「体験」や「創造」ができる世界に開かれた国際的な教育及び海外との交流拠点となる体験型施設（プレイスクール）を目指す。



【図 地球アトリエイメージパース】



【図 地球アトリエ配置図】

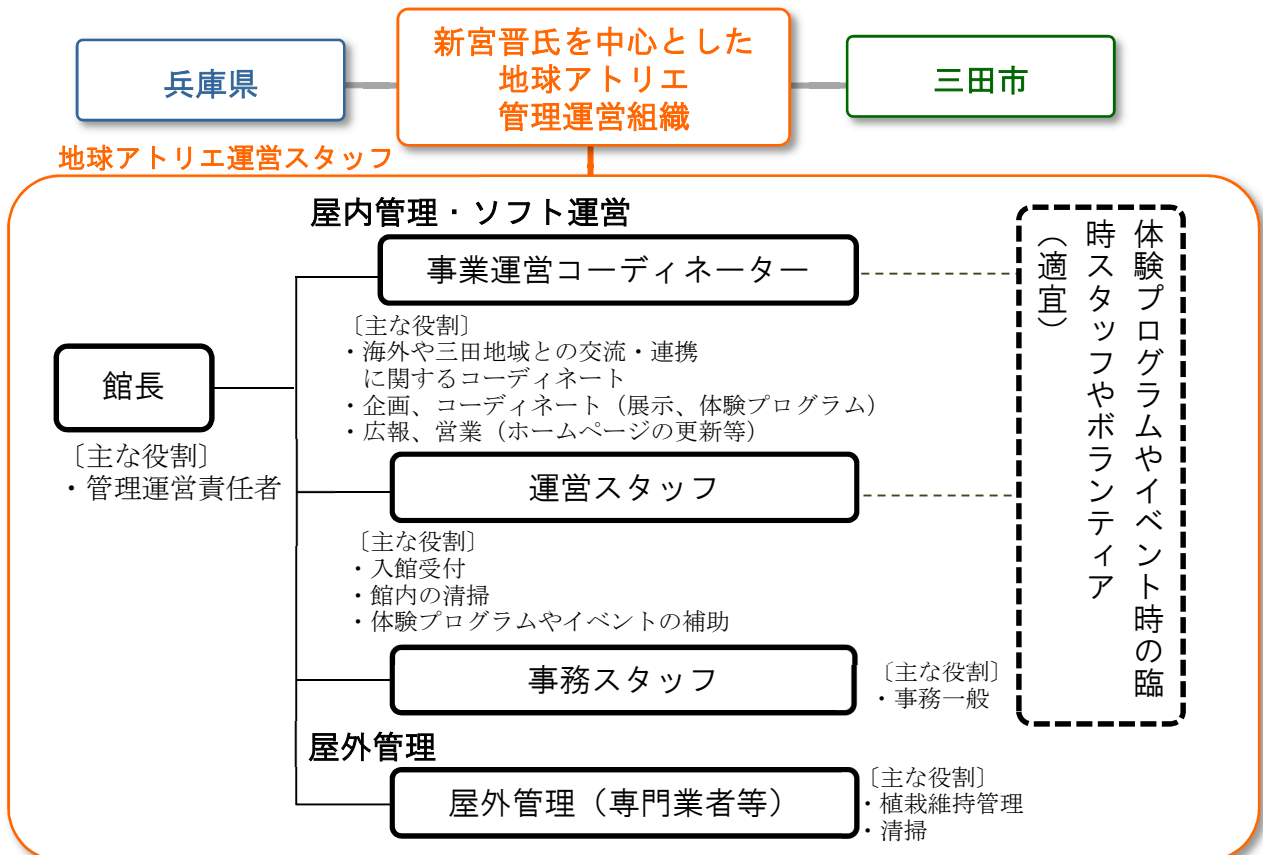
### ■地球アトリエの事業内容

地球アトリエの管理運営計画を策定し、これに基づく事業展開を図る。事業内容は、新宮晋氏の作品を紹介するとともに、子どもの教育の場、五感を使って自然や芸術を体感できる体験交流館、若手クリエイター等が様々な芸術を創造・発信していく体験型施設（プレ이스クール）としての役割を果たす、美術展示や体験プログラムの事業、管理運営費を創出する事業を行う。

事業項目	
(1) 美術展示	①新宮作品の展示 ②様々な美術作品や環境に関する展示
(2) 体験プログラム	①制作体験 ②アーティストとの交流 ③文学体験 ④音楽・演劇体験 ⑤インターンシップの受入れ
(3) 飲食物販	①カフェ・レストラン ②物販
(4) 貸し出し	①施設の貸し出し ②作品の貸し出し
(5) 協賛・寄附の受付	①会費 ②協賛・寄附など
(6) 海外交流	
(7) 地域連携	
(8) 広報・プロモーション	

### ■地球アトリエの運営体制

地球アトリエ基本構想の理念に基づき財団や NPO 等の団体を設立し、独立採算を基本として運営する。運営にあたっては、理念に共感する様々な分野の企業等スポンサーを募り、その資金を用いてより質の高い事業展開を目指す。管理運営体制は、管理運営責任者として館長、様々な事業を企画・運営する事業運営コーディネーター、運営スタッフ、事務スタッフを配置する。なお、体験プログラムやイベント時には、臨時スタッフ等を適宜配置する。



【図 地球アトリエの管理運営体制】

②あそびの王国（出会いの広場）

<課題>

- 現在の安全基準を満たさない箇所がある
- 周囲に日陰が少ない
- 1日過ごすのに食事をする場所がない

<実施主体>

ハ：ハードに関する対策 ソ：ソフトに関する対策

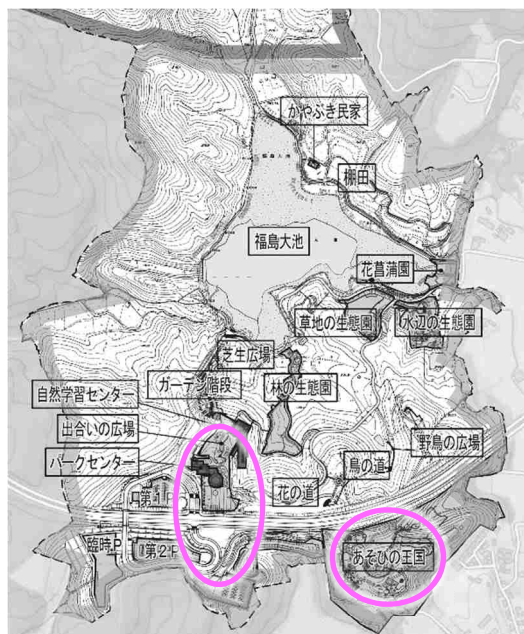
		県	指	市町	民間	住民
ハ 老朽遊具改修	主体となって進める機関					
	協力・連携して進める機関					
ハ 樹木や四阿等による日陰や休憩スペースの設置	主体となって進める機関					
	協力・連携して進める機関					
ハ 官民連携による地場産食材を活用した飲食施設の整備（カフェ・レストランの設置等）	主体となって進める機関					
	協力・連携して進める機関					

<概要>

協議会の住民委員の「子どもの遊び場が必要ではないか」という意見をきっかけに、あそびの王国が整備された。設置後15年が経過した現在も人気である大型遊具「鬼が富士」など、老朽化が進み使用停止となっている遊具について、最新の安全基準を満たすための改修工事を行う。

子ども連れで賑わうあそびの王国や、出会いの広場周辺には日陰となる場所が少ないことから、親子で一緒に遊び、快適に過ごせるように、日陰となる樹木の植栽や四阿等の休憩場所の整備を検討する。

家族連れでも1日ゆっくり過ごせるように、現在試験的に実施しているキッチンカーの取組の継続や、官民連携による地場産食材を活用した飲食施設の整備（カフェ・レストランの設置等）を検討する。



鬼が富士（使用停止中）



飲食施設の整備候補地  
（写真：国土地理院空中写真）



### ③花の道、鳥の道、野鳥の広場

#### <課題>

- 木製デッキの老朽化
- 植栽管理が出来ていない

#### <実施主体>

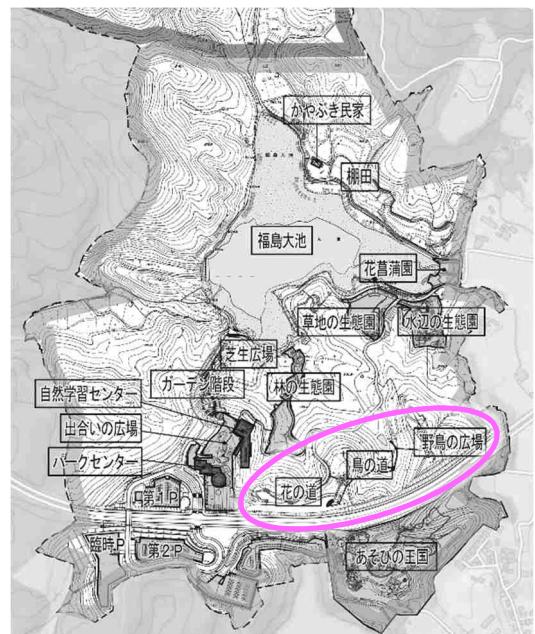
ハ：ハードに関する対策 ソ：ソフトに関する対策

		県	指	市町	民間	住民
ハ 木製デッキ等の修繕	主体となって進める機関					
	協力・連携して進める機関					
ハ 花の道において、維持管理し易い植栽等への変更	主体となって進める機関					
	協力・連携して進める機関					

#### <概要>

散策時の自然観察や環境学習の場などとして快適な利用環境を維持するため、木製デッキ・鳥シェルター等の修繕を行う。

花の道の植栽は、適切な維持管理を図るため、維持管理しやすい植栽等への変更を検討する。



花の道



鳥の道

現状の植栽	植栽(案)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・花の道は、里山の植物が中心となっており、年中花が見られる植栽ではない。以前、花の道で園芸療法の夢プログラムが行われていたが、現在は活動されていない。</li> <li>・鳥の道、野鳥の広場の植栽は現況の植生が中心となっている。利用者からは樹名札の設置の希望や、樹名札は付けず自然のままにしておいて欲しいという意見がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花の道の植栽は、在来種であり手間がかからずに葉の彩りがある植物を導入し、維持管理しやすい植栽への変更を検討する。</li> <li>・鳥の道、野鳥の広場の植栽は、野鳥の生息環境と観察に適した樹林環境を保全するとともに、園路沿いの危険木の調査、剪定、伐採を行う。</li> </ul>

## ④林の生態園

### <課題>

- 環境学習受入れ場所としての充実
- サイン等老朽化

### <実施主体>

ハ：ハードに関する対策

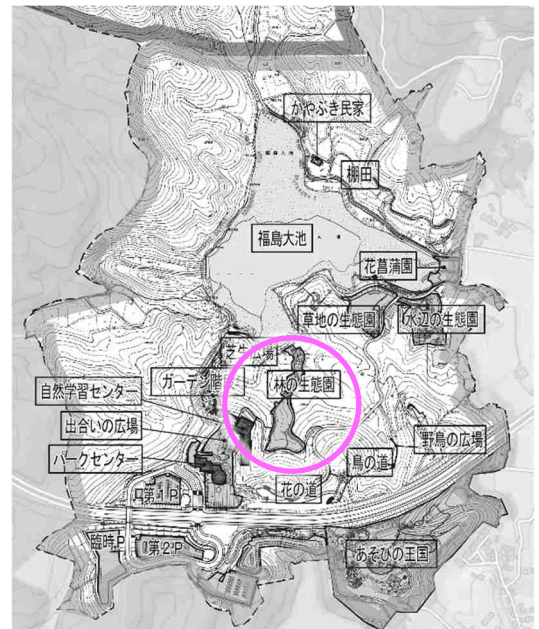
ソ：ソフトに関する対策

		県	指	市町	民間	住民
ハ 解説板、木道の改修	主体となって進める機関					
	協力・連携して進める機関					
ハ 林の講堂での屋外講習会受入れ環境整備（椅子、倉庫等）	主体となって進める機関					
	協力・連携して進める機関					
ハ 学習センター及びセンター所属のジュニアボランティアとの連携による湿地再生	主体となって進める機関					
	協力・連携して進める機関					

### <概要>

小学校等の環境学習を受入れ場所としての充実を図るため、老朽化した解説板や木道の改修のほか、林の講堂での屋外講習の受入れ環境整備を行う。

湿地再生にあたっては、学習センター及びセンター所属のジュニアボランティアとの連携により取り組む。



林の講堂



林の生態園



## ⑤草地の生態園

### <課題>

○草地の生態園の有効活用（環境学習や自然遊びなど）

### <実施主体>

ハ：ハードに関する対策

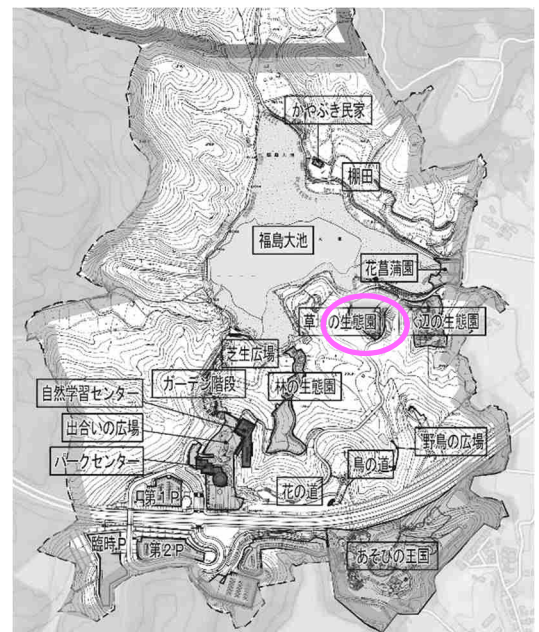
ソ：ソフトに関する対策

		県	指	市町	民間	住民
ハ 虫の種類等生態学習用サインの設置	主体となって進める機関					
	協力・連携して進める機関					
ハ 虫取りを想定した草地管理	主体となって進める機関					
	協力・連携して進める機関					
ソ 虫取りのルールづくり	主体となって進める機関					
	協力・連携して進める機関					

### <概要>

バッタ等の虫が多く見られる草場を虫取り場（自然体験の場）として整備し、虫の種類等生態学習用サインの設置や、虫取りを想定した草地管理を行う。

虫取りのルールづくりについては、夢プログラム活動グループや学習センター等との協力・連携により取り組む。



草地の生態園



## ⑥水辺の生態園

### <課題>

- アメリカザリガニ等外来種の増加
- 子どもが水に入るため、足洗い場の要望がある

### <実施主体>

ハ：ハードに関する対策

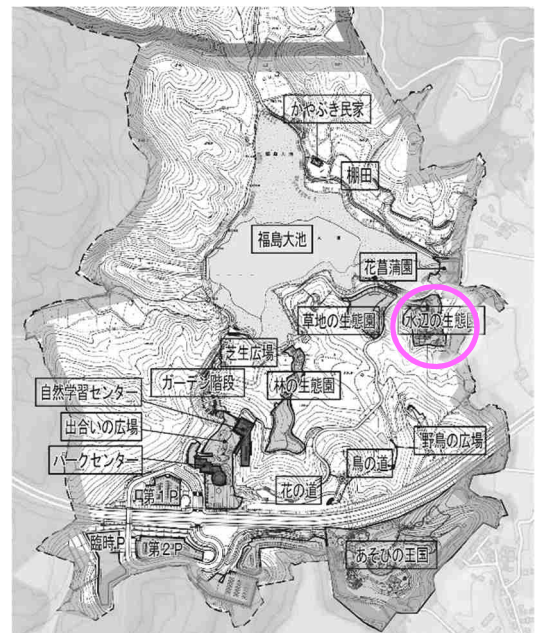
ソ：ソフトに関する対策

		県	指	市町	民間	住民
ハ	ザリガニ釣りなど生物捕獲を自然体験として楽しめる場所として改修	主体となって進める機関				
		協力・連携して進める機関				
ソ	生き物捕獲のルールづくり	主体となって進める機関				
		協力・連携して進める機関				

### <概要>

ザリガニ釣りなど自然体験を楽しめる場所として、足洗い場の整備や安全対策の為の改修を行う。

生き物捕獲のルールづくりについては、夢プログラム活動グループや学習センター等との協力・連携により取り組む。



水辺の生態園

## ⑦花菖蒲園

### <課題>

○木製園路の老朽化により閉鎖中

### <実施主体>

ハ：ハードに関する対策 ソ：ソフトに関する対策

ハ

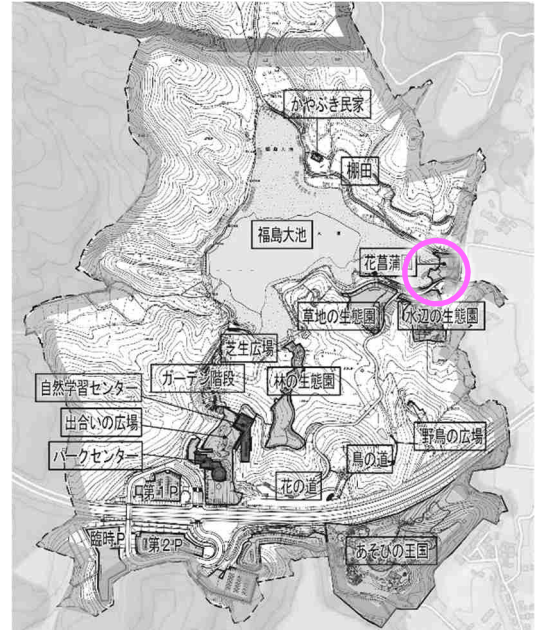
木製園路を撤去し、子どもが遊べる親水空間として改修

	県	指	市町	民間	住民
主体となって進める機関					
協力・連携して進める機関					

### <概要>

回遊しながら鑑賞できる大規模な菖蒲園（永沢寺のしょうぶ園）は近隣にも存在することから、老朽化が進む木製園路は撤去し、花菖蒲園としての施設は廃止する。

現在の水辺を活かし、水辺の生態園同様、子どもが遊べる親水空間として改修する。（木製園路撤去、安全対策等）



花菖蒲園（使用停止中）

## ⑧ 棚田・里山

### <課題>

○棚田は米作り等で使用されているが、里山林は放置による樹木の巨大化等が目立つ

### <実施主体>

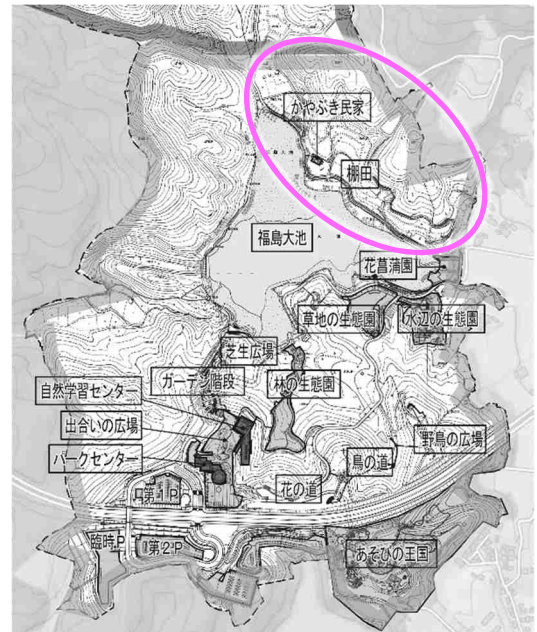
ハ：ハードに関する対策 ソ：ソフトに関する対策

	県	指	市町	民間	住民
ソ 棚田・里山部会を中心とした里山の継続的な維持管理（低林管理）	主体となって進める機関				
	協力・連携して進める機関				

### <概要>

有馬富士公園では、里山を自然や人とのふれあいを実感できる場所として次世代に伝え、里山の風景をよみがえらせる取組みとして、住民グループによる棚田管理、里山管理に取り組んできている。

棚田・里山部会を中心とした里山の継続的な維持管理（低林管理）、里山散策ルートの整備の継続、ため池堤体の刈り取り・伐採、いきもののモニタリグ、里山暮らしの体験などの取組みを進める。



かやぶき民家



棚田・里山



## ⑨尾根ルート（山のゾーン）

### <課題>

- ルートサインが不十分
- 歩行の障害となる園路際の樹木の繁茂

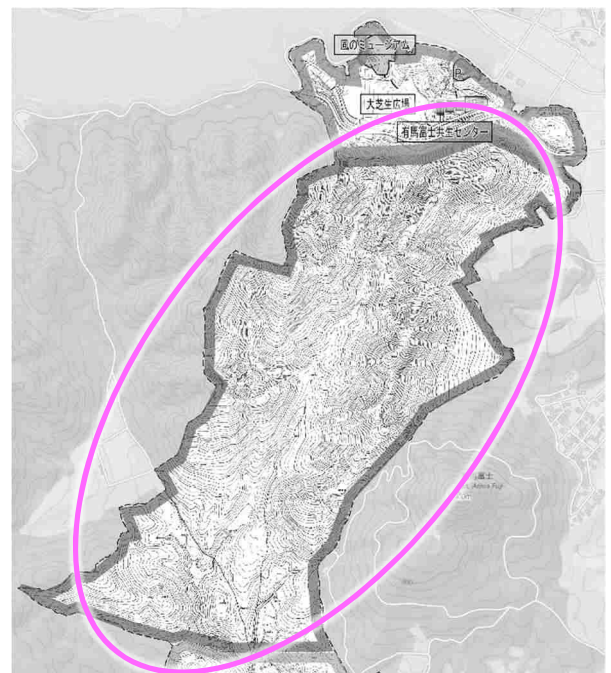
### <実施主体>

ハ：ハードに関する対策 ソ：ソフトに関する対策

		県	指	市町	民間	住民
ハ	ルートサインの改修及び新たな設置	主体となって進める機関				
		協力・連携して進める機関				
ハ	安全・安心なハイキング道確保のため市や住民と連携した案内板の設置、支障木の伐採登山道の整備・補修	主体となって進める機関				
		協力・連携して進める機関				

### <概要>

ルートサインの新設や改修、安全に安心して楽しめるハイキング道の確保する樹木の伐採、市や住民と連携した有馬富士登山道の整備を検討する。



⑩有馬富士公園運営協議会

<課題>

- 棚田・里山部会の活性化
- 夢プロ等住民グループの高齢化
- 部会継続のための仕組みづくりとこれを踏まえた新たな県立都市公園の住民参画のモデルづくり

<実施主体>

ハ：ハードに関する対策 ソ：ソフトに関する対策

		県	指	市町	民間	住民
ソ	現在の里山整備による活動の場の拡大	主体となって進める機関				
		協力・連携して進める機関				
ソ	夢プログラムグループとの連携による「里山体験プログラム」としてのPR および棚田里山エリアの活性化	主体となって進める機関				
		協力・連携して進める機関				
ソ	様々な活動に興味を持った新たな住民に対応できるよう人博の協力を得て里山部会以外の部会の立ち上げ	主体となって進める機関				
		協力・連携して進める機関				

<概要>

棚田・里山部会では、住民及び住民グループ、企業、人博等と連携し、里山の維持管理や里山を活かした田植えや炭焼きといった里山暮らしを体験できるイベントやありまふじ里山勉強会等を行うとともに、これらの取り組みが継続的に実施できるような仕組み作りを検討。

里山活動以外にも興味を持った住民に対応できるよう、人博の協力を得て活動の場を広げる。各々の活動場所で、部会を立ち上げ、住民活動の活性化を図る。(林部会、水辺部会等)

上記の取り組み等をオープンなリノベーションプロセスで展開することにより、場に共感した人たちの多様な県民参画を促し、小さな「場」づくりから公園リノベーションを展開する県立都市公園での新たな住民参画のモデルを人と自然の博物館等とともに計画していく。

⑪社会情勢の変化への対応（ポストコロナ時代への対応）

<課題>

○ポストコロナを見据え、公園の新たな活用が期待されている。

<実施主体>

ハ：ハードに関する対策 ソ：ソフトに関する対策

		県	指	市町	民間	住民
ハ ソ	「地球アトリエ」「地場産レストラン」を拠点とした地域活性化	主体となって進める機関				
		協力・連携して進める機関				
ハ ソ	セルフレクリエーションの推進	主体となって進める機関				
		協力・連携して進める機関				
ソ	マイクロツーリズムの推進	主体となって進める機関				
		協力・連携して進める機関				

<概要>

「地球アトリエ」「地場産レストラン」を拠点として、三田市及び阪神北地域の観光客等増による地域活性化を目指す。

また、QRコードを活用した生き物観察、地域資源を活用した案内板等整備、ハイキング道ルート案内整備によるセルフ学習及びセルフレクリエーション機能の充実を人博や景観園芸学校の協力により目指す。

さらに、公園内外の四季を通じた里山・棚田巡りや公園内での棚田・里山作業体験などのマイクロツーリズムを推進する。

⑫社会情勢の変化への対応（グリーンインフラの推進）

<課題>

○近年増加している豪雨に対応するため、公園内の施設を利用したグリーンインフラの整備が必要である。

<実施主体>

ハ：ハードに関する対策 ソ：ソフトに関する対策

		県	指	市町	民間	住民
ハ	グリーンインフラによる貯留浸透対策の推進	主体となって進める機関				
		協力・連携して進める機関				

<概要>

施設の修繕・新規整備の際に、雨水の貯留浸透機能の確保などグリーンインフラの機能を有効に活用する。



## 4-5 スケジュール

リノベーション計画の取組内容の実現スケジュールについては、次のように定めます。  
 なお、短期計画は5年以内に実施、中期計画は10年以内に実施、長期計画は10年を超えて実施を想定している。

【表 取組内容の実現スケジュール（予定）】

ハ：ハードに関する対策 ソ：ソフトに関する対策

内容	短期	中期	長期
①風のミュージアム（休養ゾーン）			
ハ 「地球アトリエ」の設置	■		
②あそびの王国（出会いの広場）			
ハ 改修工事実施	■		
ハ 樹木や四阿等による日陰や休憩スペースの設置	■	■	
ハ 官民連携による地場産食材を活用した飲食施設の整備（カフェ・レストランの設置等）	■		
③花の道、鳥の道、野鳥の広場			
ハ 木製デッキ等の修繕	■		
ハ 花の道において、維持管理し易い植栽等への変更	■	■	
④林の生態園			
ハ 解説版、木道の改修	■	■	
ハ 林の講堂での屋外講習会受入れ体制検討（椅子、倉庫等）	■	■	
ハ 学習センター及びセンター所属のジュニアボランティアとの連携による湿地再生	■	■	
⑤草地の生態園			
ハ 虫の種類等生態学習用サインの設置	■	■	
ハ 虫取りを想定した草地管理	■	■	■
ソ 虫取りのルールづくり	■	■	■

内容	短期	中期	長期
⑥水辺の生態園			
ハ ザリガニ釣りなど生物捕獲を自然体験として楽しめる場所として改修		■	
ソ 生き物捕獲のルールづくり	■	■	■
⑦花菖蒲園			
ハ 木製園路を撤去し、子どもが遊べる親水空間として改修	■	■	
⑧棚田・里山			
ソ 棚田・里山部会を中心とした里山の継続的な維持管理（低林管理）	■	■	■
⑨尾根ルート（山のゾーン）			
ハ ルートサインの改修及び新たな設置		■	
ハ 安全・安心なハイキング道確保のための樹木伐採、市や住民と連携した有馬富士登山道の整備（登山案内サイン設置、支障木伐採等）		■	
⑩有馬富士公園運営協議会			
ソ 現在の里山整備による活動の場の拡大	■	■	■
ソ 夢プログラムグループとの連携による「里山体験プログラム」としてのPRおよび棚田里山エリアの活性化	■	■	■
ソ 様々な活動に興味を持った新たな住民に対応できるよう人博の協力を得て里山部会以外の部会の立ち上げ	■	■	■
⑪社会情勢の変化への対応（ポストコロナ時代への対応）			
ハ 「地球アトリエ」「地場産レストラン」を拠点とした地域活性化	■	■	■
ハ セルフレクリエーションの推進	■	■	■
ソ マイクロツーリズムの推進	■	■	■
⑫社会情勢の変化への対応（グリーンインフラの推進）			
ハ グリーンインフラによる貯留浸透対策の推進	■	■	■